



座れるキッチンで楽々

会話しながら楽しく料理

中城村に住むSさん夫妻。共働きで忙しい中「無理せず楽しく料理ができるキッチンが欲しい」と、座って作業ができる対面式のキッチンをオーダー。今では、料理をするのが楽しみで、得意料理も増えているそうだ。



リフォーム前。窓が少ないため、室内に光が入らず薄暗かった



玄関
リフォーム前の



リフォーム後。建物中央に窓を新設して、室内に光と風を取り込んだ

リフォーム後。室内は、白いクロスとダウンライトで明るく一新。奥さんオーダーのキッチンは、リビングから手元が見えないようカウンターを高くした。カウンター側面の収納には、普段良く使うものを入れて、テーブル回りに物があふれないようにしている



シンクの下はオープンにした。座って作業できるほか、収納スペースにもなる

築25年になるSさん宅は、LDKを中心に、左右に寝室や子ども部屋が配置された間取り。窓が少なく室内は板張りで、暗く風通しも悪かった。リビング横にあったキッチンが壁付で、家族と会話ができにくく、黙々と壁に向かって料理をするのが、苦痛に感じることもあった。美容師をしている奥さんは「立ち仕事を終えても、またキッチンに立って食事を作る毎日。腰への負担も大きかった」と振り返る。そこで、長男が進学し、夫婦2人の生活がスタート

キッチンが配置やサイズを細かくオーダーし、

子ども部屋を取り払いリビングを広げ、玄関を移動して高窓を新設。それにより、リビングに光がふんだんに入り風通しも良くなった。板張りだった室内の壁は白のクロスに替え、ダウンライトで室内全体に明るさを出した。

したのを機にリフォームを決意。光と風をふんだんに取り込める快適なリビングと、家族や来客と会話をしながら、楽しく料理ができる対面式のキッチンを依頼した。子ども部屋を取り払いリビングを広げ、玄関を移動して高窓を新設。それにより、リビングに光がふんだんに入り風通しも良くなった。板張りだった室内の壁は白のクロスに替え、ダウンライトで室内全体に明るさを出した。

平面図



リフォーム前



また、共働きの夫妻にとっては掃除がしやすいポイントだったため、汚れが落としやすいホーローパネルとIHヒーターのキッチンにした。

Sさんは「作業が楽だし、1人の時でもゆっくりテレビを見ながら料理ができる。今ではキッチンが生活の中心になっていきます」と、とても気に入っている様子だ。(安座間啓人)

DATA

- 施工面積：約46.2㎡
- 構造：鉄筋コンクリート造平屋建て
- 築年数：25年
- 設計・施工：株新洋
- 担当：下地 克明
- (電話=098・877・8722)